

【4月27日（土）チケット発売】会場内は撮影OK！※一部作品を除く。フラッシュ・動画撮影不可。

特別展『日本の巨大ロボット群像－鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫－』

会期／2024年7月6日（土）～9月1日（日） 会場／京都文化博物館 4階・3階展示室

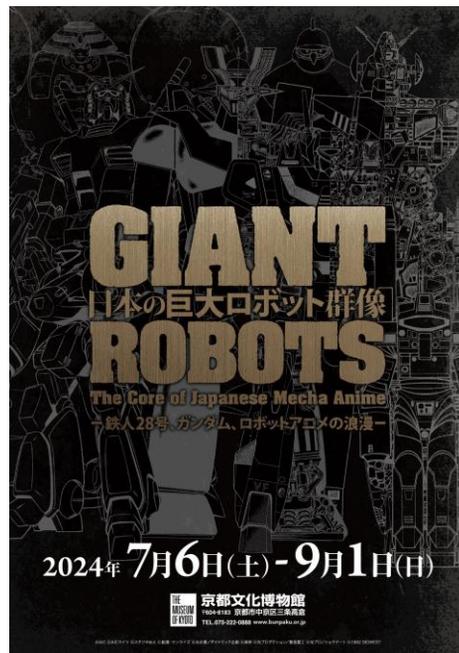
2024年7月6日（土）～9月1日（日）の期間、京都文化博物館にて特別展『日本の巨大ロボット群像－鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫－』を開催いたします。

本展は、日本のアニメーションにおける巨大ロボットのデザインとその映像表現の歴史を辿り、「巨大ロボットとは何か」を問いかけます。

架空のロボットが登場するアニメーション（ロボットアニメ）は、いまや日本の大衆文化の一角を占めています。横浜に登場した「動くガンダム」（今年3月末で公開終了）を始めとする架空の「実物大」ロボットが日本の主要都市に存在し、それらは今や日常的な風景となっているほどです。

『鉄人28号』（1963年）をロボットアニメの嚆矢として、その後『マジンガーZ』（1972年）の大ヒット、そしてロボットアニメの流れに新風を吹き込んだ『機動戦士ガンダム』（1979年）の影響下、現在に至るまで多数のロボットアニメが制作され、魅力的なロボットがデザインされてきました。他の国のアニメーションには見られない、独自の進化と広がりを見せてきたそのデザインの変遷には、空想上の荒唐無稽なロボットという存在に映像的な「リアリティ」を与えるためのデザイン上、設定上の創意工夫が凝らされ、ファンを魅了してきました。

本展では、『鉄人28号』から近年のロボットアニメにおけるロボットのデザインと映像表現の歴史を、それらの「リアリティ」形成において重要な役割を果たした設定上の「メカニズム」と「大きさ」を軸に検証していきます。その上で、「巨大ロボットとは何か」を観客の皆さんとともに考えていきたいと思います。



開催概要

展覧会名：特別展『日本の巨大ロボット群像－鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫－』

会期：2024年7月6日（土）～9月1日（日）

開室時間：10：00～18：00（金曜は19：30まで）※入場は閉室の各30分前まで

休館日：月曜日（ただし7月15日、8月12日は開館）、8月13日（火）

会場：京都文化博物館 4階・3階展示室 [〒604-8183 京都市中京区三条高倉]

主催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、関西テレビ放送

協力：AIC、AICライツ、エイケン、エディット、KADOKAWA、キングレコード、クロスメディア、KOBE鉄人PROJECT、シグナル・エムディ、スタジオぬえ、創通、ダイナミック企画、東映、東映アニメーション、東北新社、トムス・エンタテインメント、博報堂DYミュージック&ピクチャーズ、バンダイナムコフィルムワークス、光プロダクション、ビックウエスト、フライングドッグ、Production I.G、ボックス、メディアウェイブ、ライツ・イン

企画：西日本新聞イベントサービス、ぴあ

企画協力：廣田恵介、タルカス（五十嵐浩司）

入場料：一般・大学生1,800（1,600）円、中高生1,300（1,100）円、小学生700（500）円

（税込）※企画チケットも販売予定です。詳細は京都展公式HPまで <https://www.ktv.co.jp/event/robots/>
※（ ）内は前売および20名以上の団体料金。※未就学児は無料（ただし、要保護者同伴）。※学生料金で入場の際には学生証をご提示ください。
※障がい者手帳などをご提示の方と付き添い1名までは無料。※上記料金で2階総合展示と3階フィルムシアターもご覧いただけます（ただし催事により有料の場合があります）。※前売券は2024年4月27日（土）～7月5日（金）までの期間限定販売（会期中は当日券のみ）。

お問合せ：京都文化博物館 075-222-0888 <https://www.bunpaku.or.jp/>

【主な入場券販売所】

京都文化博物館、公式オンラインチケット、ローソンチケット（Lコード：53058）、チケットぴあ（Pコード：686-876）、セブンチケット（セブンコード：104-851）、イープラス、CNプレイガイド、アソビュー！、楽天チケットほか

■**みどころ1 巨大ロボットの「メカニズム」に注目！**

「搭乗」、「合体」、「変形」は巨大ロボットアニメの、いわば「お約束」。玩具展開を前提としたデザインには工夫が凝らされています。が、そのデザインに隠された「メカニズム」には、それなりの合理性があります。本展では、そうしたメカニズムの魅力を、デザイン画やアニメ劇中の場面などから制作した造形物によってお伝えします。

■**みどころ2 気分はパイロット？ロボットの「大きさ」を体感できる！**

巨大ロボットの「大きさ」は、アニメ劇中にいかに表現されてきたか？1980年代になると、巨大なロボットは実用機械レベルに小さくなり、同時にその表現はリアリティを増します。現実にあるようなロボットたちの一部分（あるいは全部）を、劇中で設定されたとおりの大きさに引き延ばしたらどう見えるか？アニメの登場人物になった気分で鑑賞ください！

■**みどころ3 「内部メカ」にもえる！**

架空のロボットが、あたかも本当に存在するかのように、「内部透視図」が描かれてきました。装甲の裏側、そして隙間にのぞくメカは、架空メカの「実体化」への欲望なのか、制作者のフェティシズムか？現在ではプラモデルや玩具でも当たり前のように再現されることが多くなったロボットの「内部」に注目します。

■**みどころ4 メカニックデザイナー・宮武一貴による圧巻の巨大絵画を展示！**

宮武一貴氏（スタジオぬえ）が、巨大ロボットをテーマとした描きおろしの巨大絵画を本展のために制作しました。博物館ならではの大画面で、宮武氏の描くロボットワールドを堪能してください！

また、宮武氏が所属する「スタジオぬえ」の仕事も特別展示で紹介します！

音声ガイド ご利用料金：700円（税込）

本展音声ガイドのナレーションは銀河万丈さん、水樹奈々さんが担当します。ぜひ、ご期待ください！



銀河万丈さん（声優・ナレーター）

TV番組のナレーション、洋画の吹き替えで幅広く活躍。ロボットアニメでは、『機動戦士ガンダム』（ギレン・ザビ役）、『戦闘メカ ザブングル』（ティンブ役）、『装甲騎兵ボトムズ』（ジャン・ポール・ロッチナ役）に出演。



水樹奈々さん（声優・歌手）

『NARUTO-ナルト-』シリーズ（日向ヒナタ役）、『ONE PIECE』（小紫役）をはじめ、アニメ、吹き替えなど多数の作品の声を担当。歌手としてもライブを精力的に行い、ラジオパーソナリティ、ナレーター等多岐に渡り活躍。

「ガンダムを歩く」！

1/1の実物大で床にプリントされたガンダムの展示も。ガンダムの上に乗って、そのサイズをぜひ体感してください。



福岡会場の様子
©創通・サンライズ



Photo by 産経新聞社

特別講演会

■**玩具・プラモから見るロボットアニメー マジンガーZからガンダム、そしてファイブスター物語へ**

日時：7月6日（土）10:30～12:00

会場：3階フィルムシアター

講師：五十嵐浩司（アニメーション研究家、本展ゲストキュレーター）、山口洋三（インディペンデント・キュレーター、本展監修者）

定員：150名

参加費：無料（ただし本展入場券〈半券可〉の提示が必要）

■**関連イベント「はじめてのロボットプラモデル講座」**

プロ講師によるワークショップ！

プラモ制作に初めて挑戦する人なら、対象年齢に限らず広くお楽しみいただけます。夏休みの自由研究にもピッタリです。

日時：8月25日（日）①10:30～12:00 ②14:00～15:30

定員：各回20組40名（計40組80名）

対象：小・中学生 ※小学生は要保護者同伴

参加費：2,500円（税込）（この他、本展入場券〈半券可〉の提示が必要）

各種イベント詳細・お申込み方法は京都展公式サイトをご参照ください。

※お申込みは、講演会6月3日（月）～、ワークショップ7月1日（月）～、いずれも10:00受付開始。

【広報用作品画像データ一覧】
特別展『日本の巨大ロボット群像—鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫—』

本展の広報用画像を、広報素材としてご提供いたします。
下記、申込フォームよりお申込ください。

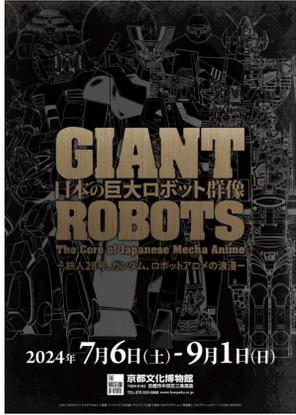
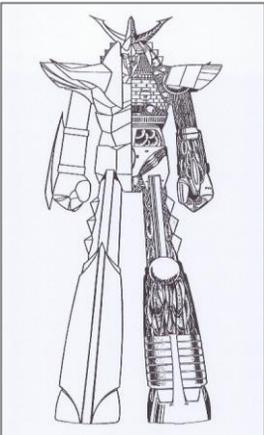
【広報画像申込みフォーム】

<https://forms.gle/CJ8tjUdoEk9WMrTA9>

※難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。

■ 広報画像をご使用の際は、別紙に記載の【画像使用全般に関する注意】を必ずご確認ください。



<p>【1】</p> 	<p>【2】 ※要監修5営業日</p> 	<p>【3】</p> 
<p>【4】 ※要監修5営業日</p> 	<p>【5】</p> 	<p>【6】</p> 
<p>【7】</p> 	<p>【8】</p> 	

【報道に関するお問い合わせ】

特別展『日本の巨大ロボット群像』広報事務局（ネネラコ内）

E-MAIL / giant_robots-kyoto@nenelaco.com TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

【広報用作品画像データ申込書】
特別展『日本の巨大ロボット群像－鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫－』

【画像使用全般に関する注意】

- ・広報用に作品画像データをご用意しております。ご希望の際は、以下にご記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込みください。
- ・下記リストからご希望の作品にチェックをつけてください（作品イメージに関しては広報画像一覧をご参照ください）。
- ・本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了までとなります。
- ・展覧会名、会期・会場名のほか、画像の使用時には、指定するクレジットを必ずご掲載ください。
また、掲載前に広報事務局宛に校正紙をお送りください。
- ・作品画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工はできません。
- ・WEBにてご掲載の場合には、コピーガード（※右クリック不可）を施しダウンロード不可にしてください。
- ・ご使用後はデータを廃棄するとともに、掲載誌、URL、または同録DVDを広報事務局宛に2部ご送付ください。

No.	クレジット・作品名・年代・所蔵先
1 <input type="checkbox"/>	ビジュアル ※クレジットなし
2 <input type="checkbox"/>	鉄人28号（1963年モノクロアニメ） ©光プロダクション・エイケン
3 <input type="checkbox"/>	宇宙の戦士（1977年） 加藤直之・宮武一貴 ©スタジオぬえ
4 <input type="checkbox"/>	地球防衛企業ダイ・ガード（1999年） ©XEBEC・フライングドッグ／創通
5 <input type="checkbox"/>	機動戦艦ナデシコ（1996年） ©Production I.G／ナデシコ製作委員会・テレビ東京
6 <input type="checkbox"/>	メガゾーン23 PART II 秘密く・だ・さ・い（1986年） 荒牧伸志 ©AIC ©AICライツ
7 <input type="checkbox"/>	勇者ライディーン ©東北新社
8 <input type="checkbox"/>	ティザービジュアル ※クレジットなし

貴社名／	
お名前／	
部署／	ご所属／
貴媒体名／	媒体種／
媒体発行・運営社名	
サイトURL／	
掲載号・露出予定日／ 月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 <input type="checkbox"/> WEBへの転載あり	
TEL／	FAX／
E-MAIL／	
媒体プレゼント用チケット／ <input type="checkbox"/> 希望（2組4名まで） <small>※1点以上の広報用画像使用必須 ※提供枚数に達した場合、提供を終了いたします ※発送は開幕直前になります</small> お送り先／〒	

【報道に関するお問い合わせ】

特別展『日本の巨大ロボット群像』広報事務局（ネネラコ内）
 E-MAIL / giant_robots-kyoto@nenelaco.com TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587
 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル